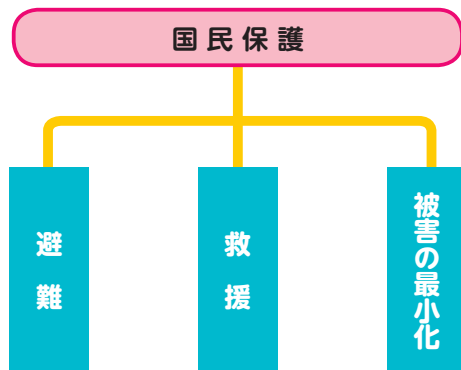


国民保護の基礎知識

国民保護の取り組み

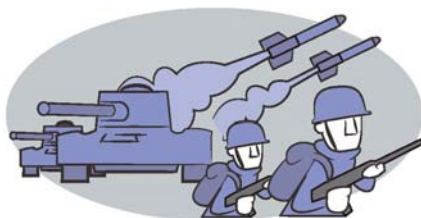
「国民保護」とは、外国からの武力攻撃や大規模テロなどから、国民の生命・身体・財産を保護することです。国民保護の具体的な内容や国、地方自治体などの責務について規定しているのが「国民保護法」です。「避難」「救援」「被害の最小化」が、国民保護における三つの柱とされています。



想定する事態

武力攻撃事態

- ① 着上陸侵攻
- ② ゲリラ・特殊部隊による攻撃
- ③ 弾道ミサイル攻撃
- ④ 航空攻撃



大規模テロ等（緊急対処事態）

- ① 危険物質を有する施設への攻撃（ガス貯蔵施設等）
- ② 大規模集客施設等への攻撃（駅、列車、劇場等）
- ③ 大量殺傷物質による攻撃（炭疽菌、サリン等）
- ④ 交通機関を破壊手段とした攻撃（航空機による自爆テロ等）



武力攻撃等の警報が発令されたら

武力攻撃や大規模テロなどが迫った、または発生した地域には、防災行政無線のサイレンや携帯電話などを使用して住民のみなさんに注意を呼びかけるとともに、テレビやラジオ等を通して警報の内容をお伝えします。

警報が発令された場合にとるべき行動

屋内にいる場合

- ドアや窓を全部閉めましょう。
- ガス、水道、換気扇を止めましょう。
- ドア、壁、窓ガラスから離れて座りましょう。



屋外にいる場合

- 近隣の堅牢な建物や地下街など屋内に避難しましょう。
- 車などを運転している場合は、できる限り道路外の場所に車両を止めてください。やむを得ず道路に置いて避難するときは、道路の左側端に沿ってキーを付けたままにするなど緊急通行車両の通行の妨害とならないようにしてください。



※弾道ミサイル発射についての警報があった際、近くに建物や地下などの避難場所がない場合には、物陰に身を隠すか、地面に伏せ、頭部を守ってください。

落ち着いて情報収集に努めましょう

- 警報をはじめ、テレビやラジオなどを通じて伝えられる各種情報に耳を傾け、情報収集に努めましょう。
- 避難の準備など、次の行動に備えましょう。



避難指示が出たら

避難の必要がある場合は、避難の指示が行われます。落ち着いて指示に従って行動しましょう。

避難の際に注意したいこと

- ガスの元栓を閉め、電気製品のプラグをコンセントから抜いておきましょう。
- 頑丈な靴、長ズボン、長袖シャツ、帽子などを着用し、非常持出品等を持参しましょう。
- パスポートや運転免許証など、身元のわかるものを携行しましょう。
- 家の戸締まりをしましょう。
- 近所の人に声をかけましょう。
- 避難の経路や手段などについて市町村からの指示に従い、適切に避難しましょう。

